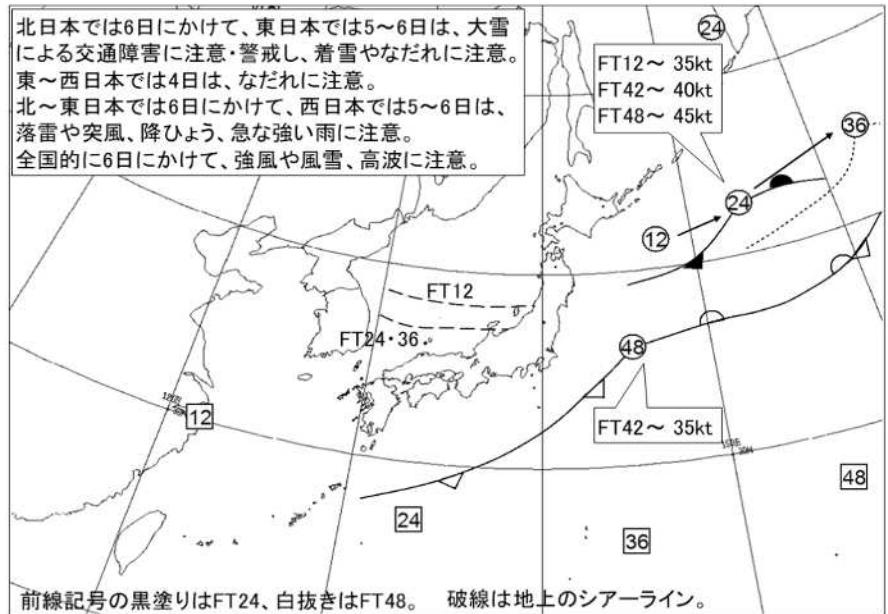


1. 実況上の着目点

- ① 日本付近は西高東低の気圧配置となっている。北～東日本の日本海側を中心に3時間に3～5cm前後の降雪を観測。全国的にやや強い風や強い風が吹き、波が高くしている所がある。
- ② アムール川中流付近に500hPa 5160m付近の-39℃以下の寒気を伴う寒冷渦があつて、南東進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 4日は、北日本を中心とした西高東低の気圧配置となる。日本海側を中心に降雪が続き、降雪が強まり大雪となる所がある。北日本では4日はじめは、大雪による交通障害、着雪やなだれに注意。また、東～西日本でこれまでの大雪により積雪の多い所では4日は、なだれに注意。
- ② 1項②の寒冷渦は、4日夜はサハリン付近へ進む。また、500hPa 5400m付近のトラフが4日夜には北日本へ進み、日本海には4日朝までに地上のシアーラインが形成、北陸地方を指向する。シアーライン周辺では、相対的な下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が不安定となる所がある。北～東日本では4日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ③ 500hPa 5220m付近で-36℃以下の寒気を伴うトラフが、5～6日に北～東日本を通過する。日本付近は5日～6日はじめにかけて冬型の気圧配置となり、850hPaで北日本には-12～-18℃、東日本には-9℃前後の寒気が流入し、降雪が強まり大雪となる所がある。北～東日本では5～6日は、大雪による交通障害に注意・警戒し、着雪やなだれに注意。2項②のシアーライン周辺では、降雪の強まりに注意。なお、シアーラインは5日夜までに不明瞭になる。また、上空寒気の影響で大気の状態が不安定となる所がある。北～東日本では5～6日は、西日本では5日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ④ 500hPa 5460m付近で-33℃以下の寒気を伴うトラフが、6日夜は東シナ海へ進む。上空寒気の影響で大気の状態が不安定となる所がある。西日本では6日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ⑤ 2項①の西高東低の気圧配置、2項③の冬型の気圧配置の影響で気圧の傾きが大きくなり、雪を伴った強い風が吹き、波が高くしける所がある。全国的に6日にかけて、強風や風雪、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項〔量的予報等〕

- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(06時からの24時間)：北海道・東北30cm。
- ③ 波浪(明日まで)：北海道・東北・関東・伊豆諸島・北陸・近畿・中国・沖縄3m。
- ④ 高潮(明日まで)：大潮の時期。北～西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。